

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第 12 条、法施行規則第 56 条）
〔PCT36 条及び PCT 規則 70〕

REC'D 02 MAR 2006

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 PCT2005-P691	今後の手続きについては、様式 PCT/ I P E A / 4 1 6 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/ J P 2 0 0 5 / 0 0 1 6 5 1	国際出願日 (日. 月. 年) 2 8 . 0 1 . 2 0 0 5	優先日 (日. 月. 年) 0 3 . 0 2 . 2 0 0 4
国際特許分類 (I P C) Int.Cl. <i>G06T3/00</i> (2006.01)		
出願人 (氏名又は名称) 株式会社島精機製作所		

- この報告書は、PCT35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第 57 条 (PCT36 条) の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。
- この報告には次の附属物件も添付されている。
 - ☒ 附属書類は全部で 3 ページである。
 - ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (PCT 規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)
 - ☐ 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
 - ☐ 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。
(実施細則第 802 号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- ☒ 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第 II 欄 優先権
- ☐ 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第 IV 欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第 V 欄 PCT35 条(2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第 VI 欄 ある種の引用文献
- ☐ 第 VII 欄 国際出願の不備
- ☐ 第 VIII 欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 02. 12. 2005	国際予備審査報告を作成した日 15. 02. 2006	
名称及びあて先 日本国特許庁 (I P E A / J P) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 脇岡 剛	5 H 9 3 6 5
電話番号 03-3581-1101 内線 3531		

様式 PCT/ I P E A / 4 0 9 (表紙) (2005 年 4 月)

第 I 欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

- ☐ 出願時の国際出願書類
☒ 明細書
 第 1-13 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
☒ 請求の範囲
 第 _____ 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 第 1-9 _____ 項*、02.12.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
☒ 図面
 第 1-16 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、 _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
☐ 配列表又は関連するテーブル
 配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
☒ 請求の範囲 第 10-13 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1-9	有
	請求の範囲	無
進歩性 (IS)	請求の範囲 1-9	有
	請求の範囲	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1-9	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献1: US 2003/0085907 A1 (NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE CORPORATION)
文献2: JP 60-002238 A (横河メディカルシステム株式会社)
文献3: JP 09-179977 A (株式会社島津製作所)

請求の範囲 1-9

請求の範囲 1-9に係る発明は、国際調査報告で引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

請求の範囲

1. (補正後) 半透明な毛羽のある糸のカラー画像を作成するための糸画像の作成方法において、

- 5 異なる背景画像(G1, G2)を用いて、少なくとも2回光学的に糸のカラー入力画像A, Cを読み取って記憶し、

糸自体のカラー画像をX、糸の不透明度の画像をDとして、

$$A = G1 + (X - G1)D$$

$$C = G2 + (X - G2)D$$

- 10 からなる連立方程式をX, Dに付いて解き、

糸の不透明度の画像Dを、糸が完全に不透明なピクセルで1, 完全に透明なピクセルで0として、Dの値が第1の所定値以下のピクセルに対してDの値を0とすると共に、Dの値が第2の所定値以上のピクセルに対してDの値を1に変更し、

- 15 得られた糸自体のカラー画像Xと糸の不透明度の画像Dとを、糸のカラー画像(X, D)として記憶することを特徴とする、糸画像の作成方法。

2. (補正後) 糸のカラー入力画像の読み取りでは、カバー付きのカラーレスキャナに糸をセットして、カバーを開いた状態で糸のカラー入力画像Aを読み取り、カバーを閉じた状態で糸のカラー入力画像Cを読み取ることを特徴とする、請求項1の糸画像の作成方法。

- 20 3. (補正後) 前記カラーレスキャナへの糸のセットでは、糸がカバーで圧縮されないようにすることを特徴とする、請求項2の糸画像の作成方法。

4. (補正後) 得られた糸のカラー画像(X, D)を用いて、該糸を用いた繊維製品のシミュレーション画像を作成することを特徴とする、請求項1の糸画像の作成方法。

- 25 5. (補正後) 半透明な毛羽のある糸の画像を作成するための糸画像の作成装置において、

異なる背景画像(G1, G2)を用いて、少なくとも2回光学的に糸のカラー入力画像A, Cを読み取るための読み取り手段と、

読み取った糸のカラー入力画像を記憶するための手段と、

糸自体のカラー画像をX、糸の不透明度の画像をDとして、

$$A = G1 + (X - G1)D$$

$$C = G2 + (X - G2)D$$

- 5 からなる連立方程式をX、Dに付いて解くための手段と、

糸の不透明度の画像Dを、糸が完全に不透明なピクセルで1、完全に透明なピクセルで0として、Dの値が第1の所定値以下のピクセルに対してDの値を0とすると共に、Dの値が第2の所定値以上のピクセルに対してDの値を1に変更するための手段と、

- 10 得られた糸自体のカラー画像Xと糸の不透明度の画像Dとを、糸のカラー画像(X、D)として記憶するための手段とを設けたことを特徴とする、糸画像の作成装置。

6. (補正後) 前記読み取り手段はカバー付きのカラースキャナで、該カラー
スキャナに糸をセットして、カバーを開いた状態で糸のカラー入力画像Aを読み取

- 15 り、カバーを閉じた状態で糸のカラー入力画像Cを読み取ることを特徴とする、
請求項5の糸画像の作成装置。

7. (補正後) 得られた糸のカラー画像(X, D)を用いて、該糸を用いた繊維製品のシミュレーション画像を作成するための手段を設けたことを特徴とする、請求項5の糸画像の作成装置。

8. (補正後) 半透明な毛羽のある糸の画像を作成するための糸画像の作成プログラムであって、

異なる背景画像(G1, G2)を用いて、少なくとも2回光学的に読み取った糸のカラー入力画像A, Cを記憶するための命令と、

糸自体のカラー画像をX、糸の不透明度の画像をDとして、

$$A = G1 + (X - G1)D$$

10
$$C = G2 + (X - G2)D$$

からなる連立方程式をX, Dに付いて解くための命令と、

糸の不透明度の画像Dを、糸が完全に不透明なピクセルで1, 完全に透明なピクセルで0として、Dの値が第1の所定値以下のピクセルに対してDの値を0とすると共に、Dの値が第2の所定値以上のピクセルに対してDの値を1に変更するための命令と、

得られた糸自体のカラー画像Xと糸の不透明度の画像Dとを、糸のカラー画像(X, D)として記憶するための命令とを設けたことを特徴とする、糸画像の作成プログラム。

9. (補正後) 得られた糸のカラー画像(X, D)を用いて、該糸を用いた繊維製品のシミュレーション画像を作成するための命令を設けたことを特徴とする、請求項8の糸画像の作成プログラム。

10. (削除)

11. (削除)

12. (削除)

13. (削除)